

# 令和 8 年度予算に関する要望事項

令和 7 年 6 月 日本薬剤師会

## 1. 国民・患者の健康を守るために必要な財源の確保

### ① 【重点】医療費財源確保のための予算措置

国民・患者が安心して生活し、働いていく上で、国民皆保険の維持・堅持は不可欠である。しかし医療技術が進歩する中、高額医薬品を使用した薬物治療等を含む保険医療を今後も継続して提供するために必要な財源確保は、重要かつ喫緊の課題となっている。

そのためには、医療現場・従事者が協力して医療の質の維持・向上を確保しつつ、後発医薬品のさらなる使用促進・普及をはじめ、長期収載品に係る選定療養、医療 D X の積極的導入・活用による医療の効率化の推進などの各種施策を進めることが不可欠となる。

OTC 類似薬の保険給付外しなど皆保険の理念に反する強引な制度変更は、国民・患者への不利益のみならず、現場に大きな混乱を招くことにもなる。国民・患者の健康を守るために必要な医療を確実かつ十分に提供するための財源確保をお願いしたい。

## 2. 公平な診療報酬の改定

### ① 【重点】公平な診療報酬の改定

薬局の経営は年々厳しさを増しており、前回の医療経済実態調査では、すでに約 3 割の薬局が赤字経営となっており、一般的な薬局（最頻階級）では収益差額が月 10 万円にも満たない額となっている。そうした状況の中、2024 年の民間主要企業の賃上げ率は 4.1%であるのに対して、薬局においては 1.5%しか賃上げを実現できていない。国策においても賃上げが望まれる中、薬局の職員給与の賃上げ状況は、率・額いずれも民間主要企業の内容を大きく下回っている。

国が定める公定価格による診療報酬・調剤報酬では価格に転嫁することができないだけでなく、2018 年から 8 年連続で実施された薬価改定の影響により、薬剤費の占める割合が他の医療提供施設と比べて非常に大きい保険薬局では、損益状況が一層悪化している。更には今後も物価上昇が継続すると見込まれ、経費負担の面でも薬局経営が圧迫される。

令和 8 年度の診療報酬改定にあたっては、地域の医薬品提供を担う薬局がその機能を発揮し、国民・患者が適切に医療サービスを受けられるよう、医科と調剤の報酬に占める技術料の比率（1 : 0.3）を堅持して、必要な予算措置をお願いしたい。

### 3. 地域医薬品提供体制の強化に向けた支援

#### ① **【重点】地域住民が薬剤師サービスを過不足なく享受できる体制整備**

今般の改正薬機法において、薬局の責務である医薬品の安定的な供給について、関係行政機関との連携等により行うこととされた。これを受け、地域行政と連携し、各地域の人口構成に応じた薬剤師サービスのニーズを算出するとともに、各地域の医薬品提供体制のリソースを分析し、薬局の偏在について検討を進める必要がある。また、無薬局地区の検討に資するよう、薬局へのアクセスが阻害されている地区の情報を収集し、その対応を検討する必要もあると考える。

とりわけ、へき地・離島等の医療および医薬品提供体制過疎地では、オンライン診療・服薬指導を含むデジタル機器を用いた遠隔での薬剤師サービスの導入も有効だが、医療介護総合確保基金等の公的財源を活用した医療計画と整合のある薬局配置と、薬剤師の確保が不可欠である。

さらに、地域住民の時間外・休日・夜間の医薬品需要に応えるためには、地域行政と薬剤師会が連携し、会員・非会員を問わず一定地域の薬局機能を把握した上で、協力して体制を強化しなければならない。こうした地域住民によりそった薬剤師サービスの提供のために地域行政とともに、地域薬局間や多職種間との適切な連携体制強化を含め、継続したさらなる財政支援をお願いしたい。

#### ② **地域医療資源を把握するためのシステム構築**

地域包括ケアシステムが目指す地域完結型医療を推進するため、安全・安心な医薬品提供体制の確立は必須となる。その体制構築のために現状を評価するには全国各地の地域医療資源を把握するための基礎データが必要となる。

公的に収集・分析されたデータの開示においては、内閣府と経済産業省が運用する「地域経済分析システム（RESAS）」があるが、この医療・介護マップ部分を各地域の医療資源に充実、特化させたようなシステムが構築されるための事業の実施とその予算措置をお願いしたい。

#### ③ **災害時および新興感染症等の感染拡大時等に対応可能な都道府県薬剤師会の体制整備**

災害や今後の新興感染症への対応においては、都道府県内での対応とともに被災地とその近隣都道府県との間での連携は非常に重要であり、そのためには各地における災害薬事コーディネーターや支援薬剤師の養成とともに、その連携に関する会議や研修および合同訓練等が必要となる。また各地にモバイルファーマシーの配備が進んでいるが、導入後も有事に備えた訓練やいつでも稼働できるような維持管理も必要となる。

このような中、「保健衛生施設等施設・設備整備費の国庫補助について」（令和7年5月1日付厚生労働省発健生0501第1号厚生労働事務次官通達）の対象である「医薬分業推進支援センター」については、「医薬分業推進支援センターの整備について」（平成5年6月9日付厚生労働省医薬・生活衛生局総務課事務連絡）に示されているが、対象範囲が現状に即したものとなっておらず、

活用されていない。有事に都道府県薬剤師会が災害対策本部として機能するためにも当該国庫補助枠の活用も視野に予算措置をお願いしたい。

#### ④ 災害時および新興感染症等の感染拡大時等における医薬品提供体制の維持

地域の薬局は、改定感染症法（令和6年4月施行）により、多くの薬局で都道府県との間で「医療措置協定」の締結が進められている。

今後の災害発生時や新興感染症等の感染拡大時には医薬品供給拠点としての機能が必要であるため、地震や感染症に備えた構造工事や停電等に備えた設備の設置および感染症発生時の感染予防用具や災害用備品の備蓄などの平時からの準備が必要となる。これらの持続的な体制整備を支援するための予算措置をお願いしたい。

## 4. 医療 DX 推進への支援

### ① 【重点】医療DX推進に向けた継続的な体制維持に係る予算措置

令和8年度で医療DXの根底となるオンライン資格確認等システムの基盤が稼働して5年を迎える。稼働初期に導入した顔認証付きカードリーダーを含めた機器が来春には保守期限を迎え、更に進展しつつあるスマホ搭載のマイナ保険証等に対応するための次期型への移行が予定されている。

当該対応は薬局において原則義務付けられている体制を維持するためのものであり、医療現場を混乱させないためにも稼働時と同様に、必要な予算措置をお願いしたい。

### ② 【重点】調剤録等の薬局情報が電子カルテと連携するための標準化に向けた検討への財政支援

令和6年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」において、「調剤録等の薬局情報のDX・標準化の検討を進める」とされたところであるが、電子カルテの標準化の議論に比して、調剤録・薬歴情報の標準化に係る議論は著しく遅れている。

医療機関と薬局との文書情報等を電子的に相互連携するには、電子カルテの標準化とともに調剤録・薬歴情報の標準化は必然である。電子的情報の効果的な活用に向けて、早急に厚労科研等の活用も含め、調剤録・薬歴情報の標準化を実現するための予算措置をお願いしたい。

### ③ 医療DXに対応するための薬局DXへの財政支援

薬局における医療DXビジョンへの対応については、随時拡充されていくシステム導入への対応と同時に、導入したシステムを利活用可能な薬局内の業務環境を整備することが必要となっている。

電子処方箋等を活用した対人業務の強化を図る以上、電子化されたデータを電子的なまま取り扱っていくことが必然となるが、実際には従来からの紙で運用している業務形態を脱していない。薬局DXに

即した薬局内の業務環境を全体的に整備できるよう継続的な支援に資する予算措置をお願いしたい。

#### **④ 電子版お薬手帳の更なる活用を目指す機能充実に対する財政支援**

オンライン資格確認等システムにおける保健医療情報の共有が拡充する中であっても、適切なセルフケア/セルフメディケーションを進めていく上での利活用は、まだ協議の俎上に上がっていない。

電子版お薬手帳においては、利用者が服用・使用する全ての医薬品の情報を掲載することが可能なツールであり、一般用と医療用の医薬品間の相互作用や基礎疾患への影響、医薬品等の購入履歴の把握などを医療関係者間で情報共有することにより、社会問題化している若年層の一般用医薬品のオーバードーズ防止等の観点でも更なる利活用の拡がりが求められる。これらの課題解決のため、電子版お薬手帳機能拡充の検討および構築に向けた予算措置をお願いしたい。

## **5. 薬剤師の確保および資質の向上**

### **① 【重点】セルフケア・セルフメディケーションへの対応能力向上に向けた支援**

今般の改正薬機法において、要指導医薬品の取扱いや、濫用のおそれのある医薬品の管理について等、要指導・一般用医薬品に関係する内容が多く含まれている。しかし薬学教育から臨床現場において、調剤に偏重した環境下で業務に就いている薬剤師も多く、セルフケア・セルフメディケーションへの対応能力向上研修に向けた財政支援をお願いしたい。

一方、深刻な社会的問題である一般用医薬品過剰使用（オーバードーズ）は、学齢期からの適切な指導・教育が重要となる。くすり教育や薬物乱用防止教室が義務付けられている中学校・高等学校での学校薬剤師の関与を充実・強化するとともに、小学校高学年から実施するための予算措置をお願いしたい。

### **② 病院・薬局薬剤師の確保が困難な地域への支援**

「薬剤師確保計画ガイドラインについて」（令和 5 年 6 月 9 日付薬生総発 0609 第 2 号厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知）及び「薬剤師偏在指標等について」（令和 5 年 6 月 9 日付厚生労働省医薬・生活衛生局総務課事務連絡）が示すように、多くの二次医療圏において病院薬剤師が不足・偏在している。一部の都道府県においては令和 6 年度からの第 8 次医療計画の中で病院薬剤師確保事業等が開始されつつある。

病棟薬剤業務やチーム医療等を通じた医療の質・安全性の向上や医師等の働き方改革をより一層推進するために、病院薬剤師の確保策の検討および実施のために必要な予算措置をお願いしたい。

併せて薬局における薬剤師の偏在も課題であり、各都道府県において第 8 次医療計画が動き始めた中で、それぞれの地域の実状を把握するための調査の実施や、それに基づいた確保策を実施するための予算措置をお願いしたい。

### **③ 広域的な視野での薬剤師養成・確保**

急増した薬学部においては入学定員充足率の低下により、令和7年、8年と続けて募集停止に至る大学が続いている。令和4年8月には入学定員の抑制方針の方向性がとりまとめられたが、同時に薬剤師の偏在解消への対策が必要である。

これには他の自治体と協力した地域枠の導入が有効と考えており、学生が集まりやすい都市部等の大学において、薬剤師の少ない都道府県を対象とした地域枠の入学定員が設置されつつある。今後更にこのような大学が増えるように財政支援をお願いしたい。

### **④ 新卒・既卒薬剤師の臨床研修等の推進を図るための財政支援**

地域医療の質の向上のためには、地域における薬局薬剤師の役割と入院治療における病院薬剤師の役割についての相互の業務の理解と連携が重要であり、それにより患者が入院や外来通院を経て在宅療養に至る一連の薬物療法をより安全、安心に享受することが可能となる。

そのため、厚生労働省が令和6年3月に発出した「薬剤師臨床研修ガイドライン」に基づいた研修実施体制の確保、そのための指導薬剤師の育成および必要経費用等の補填、新卒のみならず既卒者も含めた生涯に渡る臨床薬剤師としてのキャリア形成等に向けた更なる調査・研究のための予算措置をお願いしたい。

### **⑤ 5 疾病における薬局・薬剤師がより関与するための体制の構築**

医療計画において特に広範かつ継続的な医療の提供が必要とされている5疾病については、疾患特性に応じた継続的かつ細やかな対応や、医療機関等との患者の状態等の情報共有等が必要であることから、薬局薬剤師の対人業務の充実のため、2022年度に各疾病に関する動画コンテンツを含む研修プログラムを作成し、昨年度、疾患別対応マニュアルが作成された。

5疾病に対する薬局薬剤師による対応の質の均てん化を図るためには、これらの成果物を用いて全国の薬剤師が5疾病の治療により高度な薬学的関与をしていくための研修体制を構築する必要がある。全国でこれらの研修事業を実施するための財政支援をお願いしたい。

### **⑥ 全薬剤師に向けたコンテンツ配信基盤の維持**

日本薬剤師会では会員・非会員に関わらず全ての薬剤師を対象とした研修基盤「日薬研修プラットフォーム（PF）」を構築し、現在、全国で38,000名を超える薬剤師が参加している。

このPFは各都道府県薬剤師会が自県の薬剤師に対して研修を提供する場であるとともに、日本薬剤師会が発信すべき内容をコンテンツ化し、全国一律の研修を実現する基盤ともなっており、これまでに「オンライン服薬指導」「感染症対策」「災害医療」などのコンテンツを、会員・非会員を問わず配信している。一方でこれらのシステムの維持・運営には継続的な予算措置が不可欠であり、研修基盤の維持に係る予算措置をお願いしたい。

## ⑦ 全ての認定こども園および私立学校における環境衛生活動への支援

現在、保育所型・地方裁量型認定こども園においては、学校保健安全法の規定が及ばないため、学校薬剤師の配置や学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が十分に行われていない。

また、私立学校においても、実働している学校薬剤師の未配置である、あるいは学校環境衛生検査の実施が見送られているケースが散見される。

国が進める子ども・子育て支援の観点も踏まえ、すべての幼児および児童生徒らが平等に快適・適正な環境での学習・保育を受けることができるよう、すべてのこども園および私立学校での学校保健安全法の適用と学校薬剤師の配置ならびに環境衛生活動に必要な検査器具等の購入・整備のための予算措置をお願いしたい。